


# 読者のひろば 行

郵送の際は50円切手をお貼りください。

ご住所  
ご氏名  
電話番号  
ペンネーム  
年齢  
性別 男・女

□□□□ □□□□ □□□□ □□□□

**プレゼント**  
5月号に掲載された方から全日本女子バレーボールチームのサインを1名に、日本ハムファイターズ木佐良洋投手のサインを1名にプレゼント。その他掲載された方には、竹ノート(B5版)を贈ります。  
【応募締切：4月18日(金)消印有効】  
(当選の発表は、発送を持って替えさせていただきます。)




## ペット自慢

昨年6月号の「読者のひろば」で紹介された、仏壇の前で私と一緒に参りする飼猫のハナです。お参りが済んだ後もしばらく座布団の上がお気に入りです。(せんでガラッパ・62歳男性)

### 4

月2日に高速船甕島が就航します。皆さん、ぜひ、新船に乗って甕島に観光に来てください。5月になるとカノコユリも咲いてきれいですよ。夏に来ても良いですよ。海もきれいですし、釣りもシーカヤックも良いですよ。海水浴も楽しいです。それから、化石の発掘とかもどうですか。ぜひ一度甕島に来てください。(かのこゆり・49歳女性)

### 広

報紙に以前甕島でお世話の記事が載っていたので、懐かしく思いお電話しました。昔と少しも変わりなく、嬉しくて涙が出

そうでした。主人が残してくれた昔の友人は私の宝物です。いつまでもお元気で島の発展のために尽力くださることでしょつ。

### 大

阪の万国博覧会を見て、東京の入社式に臨んではや、すでに年金生活。学び舎を離

れて逝く友の知らせに駆って、数十名の学友に同窓会の案内を送りました。

### 川

内美術協会では、年に2回の作品展と、月1回の実技研修を行っています。現在、日本画、水彩画、油絵、立体造形、陶芸、和紙工芸、押絵画の仲間たちが活動しています。ぜひ、一緒に学んで、労作を発表してみませんか。



諏訪神社(久見崎町)の次郎次郎踊



諏訪神社(久見崎町)の次郎次郎踊

### ◎表紙の説明

#### 五穀豊穰を祈願 次郎次郎踊を奉納

3月2日(日)、久見崎町の諏訪神社と水引町の射勝神社で、伝統芸能の次郎次郎踊がそれぞれ奉納されました。どちらも豊作を祈願する行事ですが、久見崎町のものが滑稽な芝居であるのに対して、水引町のは無言劇で、それぞれ独特な雰囲気があり、見物客も真剣に見入っていました。

■表紙写真：射勝神社(水引町)の次郎次郎踊

**献血にご協力ください**



**【時】= 4月25日(金) 9時30分~16時30分**  
**【所】= 川内文化ホール**  
**【問合先】= 市民健康課予防グループ (川内保健センター内)**  
**☎(22)8811**



現在、会員募集中です。年会費は6000円(予定)です。興味のある方は左記まで連絡ください。  
☎090(9)575(4)319  
☎(25)23806  
(川畑清美・66歳男性)  
写真は、作品展会場で審査員から講評と指導を受けている場面

**発行**  
薩摩川内市  
〒895-8650 鹿児島県薩摩川内市神田町3-22  
☎(23)5111 ☎(20)5570  
☎(22)8115(直通)  
\*音声案内後に内線番号を押してください。  
閉庁日および時間外 ☎(23)5115

**編集**  
本庁企画政策部広報室(内線632・633)  
☎koho@city.satsumasendai.lg.jp

**各支所など**

樋脇支所	〒895-1292	樋脇町塔之原1173
	☎(37)3111	☎(37)2252
入来支所	〒895-1492	入来町浦之名33
	☎(44)3111	☎(44)3117
東郷支所	〒895-1106	東郷町斧淵362
	☎(42)1111	☎(42)0767
祁答院支所	〒895-1595	祁答院町下手67
	☎(55)1111	☎(55)1021
里支所	〒896-1192	里町里1922
	☎(3)2311	☎(3)2912
上甕支所	〒896-1201	上甕町中甕481-1
	☎(2)0001	☎(2)1490
下甕支所	〒896-1696	下甕町手打819
	☎(7)0311	☎(7)0753
鹿島支所	〒896-1392	鹿島町蘭牟田1457-10
	☎(4)2211	☎(4)2672
消防局	〒895-0074	原田町22-10
	☎(22)0119	☎(20)3430

**\*甕島市外局番=09969**

**広報電話**  
☎0120(894)256  
\*夜間救急当番医やイベント・防災行政無線の放送内容などの情報が電話で確認できます。

**市ホームページ**  
☎http://www.city.satsumasendai.lg.jp

**担当者の声** STAFF'S VOICE

**約** 4年間通勤しているが、今年も珍しいものをみた。それは冬の日本海の風物詩とばかり思っていた「波の花」が鹿島町でもみられた。最初は雪かなと思っ眺めていると無数の泡が舞っている。車を降りカメラ片手にパチリ。このことを支所で話すと地元の職員は「ああ~アレね」と、さほど珍しくないようで興奮しているは自分だけ。また、これを「波の花」と呼んだ、日本人の感性って素晴らしいと思うことでした。(尾崎)

**春** はスタートの季節。3月末をもってお世話になった先輩方が職場を去られ、第2の人生をスタートされました。4月からは、社会人としての第一歩を踏み出した初々しい新人たちが、職場で悪戦苦闘しながら一生懸命仕事に取り組んでいます。私も初心を忘れずに、市民の皆さまにより良い広報紙をお届けできるよう新年度をスタートしたいと思います。(鞘脇)